

第18回

包装材料セミナー (オンライン配信)

—循環型経済への移行に向けたプラスチックリサイクルの取り組みと技術動向—

日時：令和5年1月27日(金)

主催：公益社団法人日本包装技術協会

包装材料セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ (URL : <https://www.jpi.or.jp/>) より参加登録をお願いします。

Zoomを利用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。

プログラム

時間	講演内容	講師
9:00 ▼ 9:40	<p>◆「PET樹脂の需給バランス・市場動向及び今後の環境低負荷材料の展開について」</p> <p>コロナ禍により消費が冷え込み一時的に市場の成長が停滞したものの、包装容器分野において更なる成長が期待されるPET樹脂はwithコロナの状況に変化しつつある昨今、再び使用数量は増加傾向にある。石油化学由来のPET樹脂はもとより、単一材料にて構成されておりリサイクル性能が高い材料であるPET樹脂について、今後の需給バランス、トレードバランスの変化、市場動向につき説明させて頂く。また循環型経済への移行に向け、環境低負荷材料として今後の主役となるであろうリサイクルPET樹脂の業界動向や方向性についても併せて報告させて頂く。</p>	<p>三菱商事プラスチック株式会社 PET樹脂本部 PET樹脂部長 小泉 貴一郎 氏</p>
9:50 ▼ 10:30	<p>◆「プラスチック資源循環デジタルプラットフォーム開発プロジェクト:BLUE Plastics」</p> <p>BLUE Plasticsとは、プラスチック資源循環デジタルプラットフォーム開発プロジェクトである。ブロックチェーン技術を活用し、リサイクルプラスチックのトレーサビリティ(追跡可能性)が担保できるデジタルプラットフォーム構築を目指し、プロトタイプを開発して実証実験を行っている。本プロトタイプには、消費者のリサイクル意識を高め行動を促す仕掛けとして、再生プラスチックを用いた製品の来歴情報を表示する機能や、消費者自身のリサイクル活動を記録する仕組みを搭載した。</p> <p>消費者のリサイクルに対する意識・行動に対してアプリケーションが与える影響について検証したところ、商品のリサイクル率や来歴情報は、事業者のみならず消費者にとっても関心事であり、消費者が商品を安心して購入する際の基準の一つになりうることを明らかにした。また、アプリケーションによる資源ごみ回収活動の記録・可視化は、消費者のリサイクルに対する意識や行動を促すきっかけになりうることも確認した。22年度はファミリーマートと連携して、PETボトルの回収ボックスを実店舗に設置した実証実験を行う計画である。</p>	<p>旭化成株式会社 デジタル共創本部 資源循環プロジェクト長 井出 陽一郎 氏</p>
10:40 ▼ 11:20	<p>◆「海外リサイクルガイドライン状況及びバリア包材のモノマテリアル化事例」</p> <p>循環型経済への移行を促進するための政策・規制の導入が全世界的に加速している。例えば先行する欧州では「2030年までに全プラスチックを再利用可能もしくはリサイクル可能にする」というゴールのもと、使い捨てプラスチック禁止やリサイクルされないプラスチックに関する課税が導入され、リサイクル対応包材への転換が促されている。それに伴い、CEFLEXやRecyClassといった複数の業界団体によるリサイクル可能な包材設計指針を示したリサイクルガイドラインや認証制度の整備が進んでいる。基本的な考え方は極力単一材料にする(モノマテリアル化)及びリサイクル性に支障のない材料を使用することであり、欧州以外においても米国、豪州、中国などで類似のガイドラインが策定されている。それに対応する形で大手ブランドオーナーや包装材メーカーによってリサイクル可能包材への切替が進行中である。特にバリア包装材に目を向けると、ポリオレフィン系包材に使用されるバリア材料の中では、ガイドライン上EVOH(エチレンビニルアルコール共重合体)が他バリア材に比べて優位な位置付けとなっており、アルミ箔やPETなどリサイクル困難な材料の代替が期待されている。</p> <p>今回の発表では、各国のリサイクルガイドラインの状況を紹介すると共に、リサイクル適性に優れたEVOHを用いた多層バリア包装材料の市場展開について報告する。</p>	<p>株式会社クラレ エバール事業部 市場開発部 第二グループ グループリーダー 北村 昌宏 氏</p>
11:30 ▼ 12:10	<p>◆「ケミカルリサイクルをはじめとしたサーキュラーエコノミーへの取り組み」</p> <p>近年気候変動をはじめとする、地球規模の課題への対応など、持続可能性への意識が高まっている。お客様からの要請も、「持続可能性」を前提としたものに変わりつつあり環境負荷・環境対応への要求は、今後ますます高まると考えられる。そういった中、三菱ケミカルではサーキュラーエコノミー実現に向けて、持続的な資源・エネルギーの循環を目指している。</p> <p>今回はサーキュラーエコノミー実現に向けて弊社が検討している、プラスチック循環の取り組みとして廃プラ油化、その他ケミカルリサイクル(PET、PMMA)及びバイオエタノールを使用したオレフィン製造等に関してご紹介する。</p>	<p>三菱ケミカル株式会社 石化/炭素ビジネスグループ 戦略企画本部 CN・CE戦略部 CN・CE事業グループ長 太田 祥史 氏</p>

講師のご紹介

小泉 貴一郎(コイズミ キイチロウ) 氏
三菱商事プラスチック株式会社 PET樹脂本部 PET樹脂部長

【ご略歴】

2002年4月 三菱商事プラスチック(株)入社。国内取引及び中華圏をはじめとしたアジア域内における合成樹脂取引を担当。中国、台湾での駐在を経て2015年よりPET樹脂部に所属、PET樹脂輸入・輸出・三国間取引に携わる。2020年4月より現職。

井出 陽一郎(イデオウイチロウ) 氏
旭化成株式会社 デジタル共創本部 資源循環プロジェクト長

【ご略歴】

1993年旭化成入社。先端材料の基礎研究やフォトレジスト製品開発に従事したのち、2018年よりサーキュラーエコノミーの企画に携わる。2020年より資源循環デジタルプラットフォーム開発のプロジェクトを立ち上げ、2022年1月より現職。

北村 昌宏(キタムラ マサヒロ) 氏
株式会社クラレ エパール事業部 市場開発部 第二グループ グループリーダー

【ご略歴】

2003年クラレに入社しエパール樹脂の研究開発に従事した後、2007年以降日本・アジア・欧州での技術サービスを担当。特に欧州駐在時には欧州ガイドライン策定団体との窓口やエパール樹脂のリサイクル適性調査、リサイクル対応包材開発等に従事。2022年1月より日本へ帰任し、主にアジア市場でのエパール樹脂を用いたリサイクル対応包材の市場開発を担当中。

太田 祥史(オオタ ヨシフミ) 氏
三菱ケミカル株式会社 石化/炭素ビジネスグループ 戦略企画本部
CN・CE戦略部 CN・CE事業グループ長

【ご略歴】

2000年4月 入社
以降2018年5月まで三重事業所にてRD、製造、技術開発、企画管理 業務対応
2018年6月 本社異動
2022年7月 現職

包装材料セミナー企画委員

*本催しは各企業から推薦された企画委員によりプログラムを編成しております

香川 幸子 委員 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター 開発本部 第一開発部 課長
大橋 敬史 委員 マースジャパンリミテッド アジア太平洋地域 研究開発部パッケージマネージャー
張 義宏 委員 アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所 容器包装グループ グループリーダー
芋田 大輔 委員 東洋製罐(株) テクニカルセンター 基盤技術開発部 プラスチック素材開発グループ グループリーダー
大葛 貴良 委員 ユニチカ(株) 包装フィルム営業部 市場開発グループ グループ長
大平 祐歌 委員 (株)明治 研究本部 技術研究所 包装研究部 包装技術G
尾下 竜也 委員 (株)クラレ エパール事業部 市場開発部 兼 製品・品質統括部 部長
下浦 博之 委員 雪印メグミルク(株) ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室

開催要領

日時: 令和5年1月27日(金) 9:00 ~ 12:10

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式

申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

参加費:

1名分参加費	会員	会員 (3名同時申込1名あたり)	一般
本体	15,000円	13,000円	22,000円
消費税10%	1,500円	1,300円	2,200円
税込合計	16,500円	14,300円	24,200円

定員: 100名

参加申し込み方法と注意事項

【参加申込方法】

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。
お申し込みは当会ホームページの包装材料セミナー参加申込ページよりご登録下さい。

当会ホームページURL: <https://www.jpi.or.jp/>

- 参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

【注意事項】

- ①「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- ③本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- ④申し込みの際**メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ⑤開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

お問い合わせ先: 公益社団法人日本包装技術協会 包装材料セミナー係 担当: 竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第18回包装材料セミナー」の事業実施に関する資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。